

フルヒカ フロアブル
FRUPICA

登録番号 第19100号
種類名 メパニピリム水和剤
mepaniprim
殺菌剤分類 9
性状 類白色水和性粘稠懸濁液体
有効年限 4年

有効成分 メパニピリム 40.0%
毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
包装 (250mℓ×20本)×2箱

■特長

1. 各種作物の灰色かび病・うどんこ病・その他の病害に、予防散布で安定した防除効果を発揮します。
2. 各種薬剤耐性菌にも優れた効果を示します。
3. ユニークな作用機構を有し、ローテーション散布に有効です。
4. 浸透性を有します。
5. 果実や葉の汚れが少なく、使いやすいフロアブル剤です。
6. 残効性や耐雨性を有します。
7. 有用昆虫に対し、影響が少ない薬剤です。



最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用病害名及び使用方法

(2024年7月24日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤及びメパニピリムを含む農薬の総使用回数	使用方法		
かんきつ	灰色かび病	2,000～3,000	200～700	開花期～幼果期 但し、 収穫90日前まで	2回以内	散布		
りんご	黒星病	2,000～6,000		収穫21日前まで	5回以内			
	斑点落葉病	2,000～4,000						
	うどんこ病 モニリア病	2,000						
なし	黒星病			2,000	収穫前日まで			
もも	灰星病、黒星病 うどんこ病	2,000		200～700	収穫前日まで		5回以内	散布
ぶどう	灰色かび病 うどんこ病	2,000～3,000		100～300	収穫30日前まで		2回以内	
かき					収穫14日前まで		5回以内	
びわ	灰色かび病	2,000		100～300	収穫7日前まで		3回以内	
マンゴー					収穫14日前まで		5回以内	
あずき								
いんげんまめ								
ねぎ	小菌核腐敗病	2,000	100～300	収穫7日前まで	4回以内	常温煙霧		
きゅうり	うどんこ病 褐斑病 灰色かび病	2,000～3,000	100～300	収穫前日まで				
	67	10						
すいか メロン かぼちゃ	うどんこ病	2,000～3,000	100～300	収穫前日まで	4回以内	散布		
トマト ミニトマト	灰色かび病	2,000～3,000	100～300	収穫前日まで	4回以内	散布		

殺菌剤 フルピカフロアブル

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤及びメパニピリムを含む農薬の総使用回数	使用方法	
なす	灰色かび病 うどんこ病 黒枯病	2,000～3,000	100～300	収穫前日まで	4回以内	散布	
		67	10			常温煙霧	
ピーマン	うどんこ病	2,000	100～300		3回以内	散布	
いちご		50	5			常温煙霧	
	ラズベリー	100	10			2,000～3,000	2回以内
灰色かび病		2,000					
パセリ	うどんこ病	3,000	100～300		収穫7日前まで	2回以内	散布
花き類・観葉植物(ばら、ゆり、スターチス、宿根かすみそう、りんどうを除く)	灰色かび病	2,000～3,000	100～300		発病初期	5回以内	
ゆり	うどんこ病						
	スターチス 宿根かすみそう	葉枯病	2,000				
灰色かび病							
りんどう	うどんこ病	2,000					
	灰色かび病	2,000～3,000	200～700				
樹木類(かしを除く)	褐斑病、黒斑病	2,000					
	かし		うどんこ病				
		灰色かび病					
	紫かび病						

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、次のことに注意してください。
 - (1) 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
 - (2) できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態としてください。
3. 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
4. おうとうには薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
5. りんごに使用する場合、開花直前から落花20日頃までの高濃度(2,000倍)散布は、つがる・ジョナゴールド等の葉に薬害を生じる場合があるので注意してください。
6. シクラメンに使用する場合、開花中の花卉に薬液が付着すると薬害が生じる場合があるので、開花期以降の散布はさけてください。
7. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
8. 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
9. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意 

10. 皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。皮ふに付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
11. 使用の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
12. 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
13. 街路、公園などで使用する場合は、使用中および使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係ない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

●フルピカフロアブルの上手な使い方**①予防的散布（早めの散布）を重点に行ってください。**

病害虫発生予察情報などの県の指導に注意し、発生前や発生初期から予防的に散布（早めの散布）することで、優れた防除効果を発揮します。

②的確な散布を行ってください。

病害発生後の散布では、十分な効果が発揮できない場合がありますので、治療剤で病勢を抑えた後に散布してください。灰色かび病は花卉などから感染しますので、感染しやすい部分に薬液が十分かかるように散布してください。

③連続使用はさけ、作用性の異なる他の薬剤とのローテーションで使用してください。

一般的に同一の薬剤を過度に使用すると、薬剤耐性菌の出現の危険性があります。作用性の異なる他の薬剤とのローテーションで使用してください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。